

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和7年9月4日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会派名 市民連合議員団

代表者名 宮田 団



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	松尾 和仁
出張先	札幌市
期間	令和7年8月26日～令和7年8月28日（3日間）
用務	第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌
調査（研修） 結果等の概要	別紙参照
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書（原本）とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

## 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌 報告書

1. 日 時 令和7年8月27日(水)～28日(木)
2. 場 所 札幌文化芸術劇場 hitaru
3. 参加者 市民連合議員団 松尾 和仁
4. テーマ 地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて

1日目の基調講演では、元衆議院議長の伊吹文明氏が登壇、「主権を預かる誇りと責任」について、ご講演を聴かせていただきました。以下、講演内容。

国の統治は行政府の代表者、統治者たる内閣総理大臣を国民ではなく、国会により選任される。内閣総理大臣の国会解散権の行使等をめぐっては様々な論争はあるものの、国会は国権の最高機関と規定されている。

一方、自治体の統治は二元代表制。市長も市民から選ばれるため、長との関係において、議員の皆さまは大変ご苦労されているのではないかと思う。

二元代表制の最大の課題は、長と議会の調整については、憲法には明記されず、法律に委ねられている点にある。議会が長の不信任議決し、市長が失職したのち、その市長が選挙で再選するといったことが繰り返されている。主権者たる住民の民意、長、議会の調整機能がうまく働いていない。憲法改正が行われるなら、その折には自治体として、このあたりのことを議論の俎上に載せていってほしいと思う。地方議員の皆さまは住民と向き合い、かつ大きな権限を持つ市長とも利害調整を図っていかなければならない。

今後とも重責を担いつつ議会制民主主義への貢献、住民の福祉の向上に貢献していただけるよう期待している。

続いて、「多様な人材の参画促進の観点から地方議員のなり手不足問題を考える」をテーマにパネルディスカッションが行われた。

近畿大学法学部教授の辻陽氏がコーディネーターを務め、4人のパネラーが登壇。議員報酬の課題、政治活動費の負担(選挙費用、活動経費)、二重負担(仕事と議員活動の両立困難)、落選リスク、家族への負担。誹謗中傷、年金の問題など様々な課題がある。

地方議員のなり手不足が市議会でも進んでおり、その課題解決のためには、まずは議会・議員活動の情報発信により市民に議員について関心を持ってもらうことが重要。様々な課題を解決していくことと、それ以上に魅力ある職業にしようと結び終了した。

2日目は、課題討議として「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」が行われた。議論前の情報提供として、関東学院大学の牧瀬氏からは、2023年の統一地方選挙では、投票率の低下や無投票当選者の割合が高まるなど、小規模市議会における議員のなり手不足が深刻化したこと。

また、若者や女性、会社員など多様な人材の地方議会への参画を促し、議会を活性化することは、多くの市議会に共通の緊要な課題であること。

今後は、議会に対する関心を高め、多様な人材の地方議会への参画促進に地方議会がより積極的に取り組む必要があるとの情報提供があり議論がスタートした。

その中で令和 5 年統一地方選にて市では唯一定員割れした岡谷市議会の議会改革を紹介する。

岡谷市議会は、選挙後の新議会体制で取り組む重点項目として、

① 議会情報のオープン化(情報共有)

SNS の活用、プレス発表の強化、広聴機能の充実、市民と議会とのアクセス手段の強化

② 住民の議会への参加(住民参画)

市民参加型の意見交換、議会報告会の充実、小中学生等に対する啓発活動の実施

③ 議会機能の強化(機能強化)

議会運営等の専門家によるアドバイスによる機能強化、サイボウズによる通知等のペーパーレス化、タブレットの導入

④ 議員のなり手不足対策

シンポジウムの開催、市民との対話集会の開催全 6 回  
を掲げ果敢に挑戦を続けている。

岡谷市議会では、令和 7 年 6 月定例会において、議員提案「定数条例」が可決され、18 人から 16 人となり、次期統一地方選挙より実施される。

現在、鉏路市議会においても「議会改革特別委員会」を設置し、市民団体や大学等の有識者との意見交換を積極的に実施している。

人口減少等から検討すべきタイミングであり、今回のフォーラムの議論は今後の鉏路市議会にも大いに参考になる内容であった。